

令和2年12月23日

各 位

香川県剣道連盟理事長

令和2年度 全日本剣道選手権大会香川県予選会・全日本女子剣道選手権大会予選会参加における留意事項等について

みだしの件については、新型コロナウイルス感染が全国的に拡大を増す中、大会実施にあたり、事前の感染予防対策の徹底と試合における留意事項について下記のとおり通知する。

1 事前の感染予防対策の徹底

- (1) 平素の稽古においては、全剣連及び香川県剣連が発出している感染予防対策のガイドラインを順守すること。(香川県剣道連盟ホームページ参照)
- (2) 参加者については、大会2週間前から会食等の自粛や多数が集まるイベント等への参加自粛に配慮されたい。
- (3) 県外在住の大学生等が参加する場合は、できる限り2週間前に帰県するなど、各自が取りうる感染予防対策をお願いする。

2 試合等における留意事項

- (1) 大会当日は健康チェック及び検温を行う。検温において37.5度以上の者は参加できない。
- (2) 大会当日の面マスク及び面シールドの準備
香川県剣連主催の大会では、面マスク及び面シールドの併用を奨励していることから、各自で準備されたい。

※面マスクは口鼻を覆うもので、面に取り付けるものは認めない

(3) 試合上の注意事項(暫定的な試合方法)

〈鏝競り合い関係事項の統一事項〉

- 試合者は、鏝競り合いを避ける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合、試合者は直ちに分かれる。(正々堂々と互いに気を合わせる。)
- 接触した瞬間の引き技や体あたりからの技は認める。
- 相互に分かれようとしている途中の打突は有効打突としない。場合によっては合議の上、反則を適用する。特に一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する場合や分かれようと思わせかけて打突する場合等、様々な状況や原因を踏まえた上で合議により判断する。

〈その他〉

- 意図的な「時間空費」や「防御姿勢」(勝負の回避)による相手に接近するような行為は様々な状況や原因を踏まえた上で合議により反則の適用を判断する。

以上